

## HopStepJump 4

<https://toyono-jinikyo.com/>

## 授業づくり②

～ユニバーサルデザインの視点に立った

授業づくり・学級経営について～

初任者研修第3回は「ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり・学級経営について」をテーマに、梅花女子大学の閑喜美史先生に演習や交流を交えながら講義をしていただきました。普段の子どもとの関わり方や授業づくりについて初任者同士で交流をしながら支援教育についての理解を深めました。また、ユニバーサルデザインの視点での授業づくりや学級づくりについて、具体的な指導事例の紹介があり、すぐに取り組めることや、自分の授業やクラスの現状と結びつけて手立てや実践を考えることができました。

## ～振り返りシートより～

個に応じた指導の具体例を見て、多くに共通していたのが「共有・共感」の場面があることに気づきました。クラス全員がいろいろな思いを教室の中で表現し、それを上手に視覚で見えるようにされていてとても素敵だなと思いました。きっとそんな授業には教員が「ここは間違えてもよい場所だよ」という指導が日々の中に裏付けされているのだろうなと思いました。

自分の授業を振り返ると、「体験や発見、やって分かる」があまりできていないと思いました。「なるほど」や「分かった」が多くある生徒主体の授業づくりを工夫していきたいと思いました。また、問題となる行動のある子ども≠問題のある子どもという言葉が印象に残りました。なぜそういう行動が起こるのか、その行動の前後を考え、困り感を取り除いてあげることが大切であり、問題ばかり、できないことにばかり目がいつてしまうが、よさ・長所を伸ばしていくことを忘れずに生徒に関わっていきたいと思いました。

「子どもたちは日々の学級活動の中で困っているサインを見せてくれているというお話が印象に残っています。間違っているから正しい方へ導こうとするのではなく、その子がどこにつまずき、何に困っているのかを見つけて、必要としている指導や支援ができるように努めていきたいと思いました。

「個別の指導計画」は書き方など大学の講義くらいでしか学べていなかったのが、とてもありがたかったです。流れ図をもとに子どもの指導に活かしていきたいです。1枚のワークシートから子どもの困り感を理解することはとても大事だと思いました。筆圧など、見る観点も学べたので注意して見ていきたいです。

基礎的環境整備や合理的配慮について、知ってはいたもののいざ自分がやるとなるとどうすればよいのか分からないということが多かったです。講義で支援が必要な児童のニーズや、のばしたい力を考えて支援を考えていくことが分かりました。今、自分がクラスで困っている児童について、行動をよく見て、なぜそうしてしまうのか、その行動が何を意味しているのかを理解していきたいと思いました。その子がどうすれば勉強しやすく、教室で過ごしやすくなるかを考えていきたいです。そして、その子だけにとらわれすぎず、その子の周りがどのような反応をしているのか、その子に対しての自分（担任）の対応を周りの子はどう見ているかなど、様々な視点からの考えが必要だと分かりました。

みなさんが毎日の授業や学級で懸命に子どもたちと向き合っている姿が思い浮かびます。それぞれが日々ひたむきに向き合っているからこそ悩んだり困ったりするのだと思います。ぜひ研修での講義・交流と、毎日の実践を行き来しながらスキルアップをしていきましょう。

研修で提示された実践事例も参考にしながら、「自分のクラスなら…」  
「自分の授業（教科）なら…」と、置き換えたり、現状と結びつけたりしながら、理解していけるといいですね。研修での学んだことや気になったことを話題にして、校内で学年の先生や、管理職の先生、初任者指導の先生などと、ぜひ話してみてください。



グループの人と話し合う時間では、みなさんそれぞれにいろいろな児童生徒をかかえていて、それらを共有するのは興味深かったし、私も話をすることで少し心が楽になったような気がしました。

「研修はきっかけ」というお話を聞いて、少し安心しました。充実した内容で、全部を自分のものにしなればという思いもありましたが、肩の力を抜いて、まずは学びのきっかけとして今回の研修を活かそうと思いました。

日々の実践で考えたり感じたりすることや、講義によるインプットも大切ですが、同じ初任者同士での交流、アウトプットも同様に大切にしてください。豊能地区でもともにキャリアをスタートさせた同期（横のつながり）で高めあい、支えあうことを今後も期待しています！

研修時に交流するグループは、第1回（開講式）と第3回は所属市町での座席・グループ分けでしたが、今後は研修内容によって、担当する学年や教科、校種別、ときには小中混合などでグループを構成します。その都度、意図やメリットを汲みながら、活かしながらの交流になるようにしましょう。

みなさんは、普段、他の校種の先生と知り合い、お話する機会がどれくらいありますか？小学校の先生は中学校の、中学校の先生は小学校の授業や子どもたちのようすをどれくらい捉えているのでしょうか？「小中連携」とは言いますが、まずは研修を機会に質問したりお互いのようすを共有したりしながら、一緒に授業や子どもの成長について話し合うようにしましょう。

豊能地区教職員人事協議会は、「**子どもとともに学び続ける教職員**」をめざす教職員像として掲げ、この初任者研修を実施しています。まもなく始まる今年度の教員採用試験、きっと一年前のみなさんにとっても「学び続ける」はキーワードだったことでしょう。（以下、今回の振り返りシートの記述です。）

私は大学で支援教育を専門に学んでいて、はじめは特別支援学校の先生をめざしていました。しかし、小学校での実習を通して、小学校にも困り感をもった子どもがいることを知り、力になりたいと思い小学校の先生をめざすようになりました。今回の講義は、私の原点を思い返す機会になりました。自分の学級経営を今一度振り返り、基礎的環境整備を意識して取り組みます。

4月からこれまで、不安に思うことや悩むこと、戸惑うこともあったかもしれませんが、それでも、ここまで試行錯誤する中でつかんだヒントや手ごたえ、成果や喜びもあるはずです。子どもに対して肯定的な見方を心がけるように、ぜひ今一度、自分のことも肯定的に捉えることを意識してみてください。きっと、先月や先週、昨日よりもできることが増えています。学び続けるその先には、確実に成長があります。

「みなさんはどんな先生になりたいですか？」

教員採用試験の合格をめざしていたときとは違うニュアンスで、「どんな先生でありたいか」とも言い換えることができるこの問いに、今のみなさんは何と答えるのでしょうか。そして、今、関わっている子どもたちにどのような力をつけたいですか？子どもたちにどうあってほしいですか？毎日が目まぐるしく過ぎていくからこそ、研修の時間で自分について振り返り立ち返る、そんなホットでほっとする機会にしてください。

## お知らせ

初任者の初任者による初任者のための「**オンライン交流会**」を実施します。

初任者研修第8回（8/23）は、Zoomを活用したオンラインでの研修（リアルタイム型開催）を予定しています。後日送付の「実施マニュアル」等を参照にご準備いただきたいのですが、接続や操作の確認・練習も兼ねて、事前に初任者同士の交流会という形で企画します。（詳細等は追って連絡します。）



**概要** 7月21日（木）、22日（金）\*いずれも午前・午後ミーティングルームを開設

- ・参加自由、事前の申し込みはいりません。
- ・Zoomでの研修を事前に体感できます。
- ・途中入室、途中退室可能なので、ご都合のよいときに接続（参加）できます。